

『広重と行く旅模様 街道絵を楽しむ』



会場写真

展示室内は迷路のようになっています

7月22日から「広重と行く旅模様 街道絵を楽しむ」展が始まっています。

この展覧会は、江戸時代の旅をテーマにしています。江戸時代、旅行といえば徒歩（歩き）が基本でした。例えば江戸（東京）から京（京都）までの距離は約500^里。気が遠くなりそうです。この行程には約2週間かかったと言われていいますから、1日約35^里強を歩いた計算になります。江戸時代の人々はなんと強いことでしょう。また当時の旅はなんと厳しかったことでしょう。

厳しい旅の中で、人々は、時々駕籠かごに乗せてもらったり、馬に乗ったりしました。そして、土地の名物を食べさせてくれる茶店に寄ったり、名産品を買い求めたり、といった楽しみを見つけて、旅を続けていったのでした。

本展では、どのような人々が旅をしたのか（旅をする人々）、馬や駕籠など旅の便利なアイテム（旅のたぐい）、旅籠はたごや休憩所などがあった宿場の様子（宿場）、土地の美味しいもの（食べる）、どんな旅館があったのか（泊まる）、旅の途中で出会う風流な場所（名所）、特産品の数々（名物）の7つのコーナーに分けて、江戸の旅を楽しんでいただきたいと思います。

大人の方には、ゆったりとしたスローライフのお薦めとして、小さい皆さんには、昔の旅の様子を知る手掛かりとして、楽しんでいただけたら幸いです。

7月22日(金)～8月28日(日) 毎週月曜日休館

会期終了後、8月29日(月)～31日(水)まで展示替え休館します。

8月2日(火)～28日(日)の間、恒例の市民割引を実施します。

このページ右下の割引券をお持ちください。

小中高生は、この展覧会期間中、無料で入館できます。

編集後記

夏です。市内各地で夏のイベントが行われ、取材で外に出る機会も多くあります。市内を回っていると、魅力的なスポットが幾つかあります。その中の一つに笠置山があります。取材などで数回登ることがありましたが、山頂付近の物見岩から見る景色はまさに絶景です。また夏には、エアコンの人工的な涼しさではなく、山の天然の涼しさはとも良いものです。このほかにもまだまだ多くの魅力的なスポットがありますので、紙面の中でも紹介していきたいと思えます。

今年には愛・地球博が開催され、愛知県方面がにぎやかですが、夏休みの1日を市内観光で過ごしてみませんか。もっと恵那市が好きになるはずですよ。

宮

次号は8月15日号

発行日は8月15日(月)です

広報えな No.18

2005年(平成17年)8月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 秘書広報課
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

『広報えな』8月1日号、1部当たりの印刷経費は約13.2円(税込み)です。

2100

『広報えな』は古紙100%の再生紙を使用しています。

中山道広重美術館市民割引券
平成17年8月2日(火)～28日(日)
大人=400円、10人まで割引
広報えな